

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、通常の診療で行った検査の後に保管されている患者さんの残った血液（血清）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、保管されている血液（血清）を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

水疱性類天疱瘡患者の全長 BP180 抗体の測定

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院皮膚科

【研究責任者】 藤山 幹子（皮膚科 准教授）

【研究の目的】

水疱性類天疱瘡と、糖尿病および糖尿病治療薬である DPP4 阻害薬との関連性を調査する研究を行っており、さらに詳細な検討を行うこととしました。この研究は糖尿病患者さんに生じた水疱性類天疱瘡の病態解明を目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）カルテの診療情報を開示し、2008年1月から2017年9月に愛媛大学医学部附属病院を受診された水疱性類天疱瘡の患者さんの通常の診療で使用した後に残った血液（血清）を北海道大学皮膚科に送付し、検査を行い、当院皮膚科で解析を行います。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料は北海道大学に送付して検査を行います。名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除き、対応表を作成して匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 >

愛媛大学医学部附属病院 皮膚科 藤山 幹子

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院皮膚科 藤山 幹子

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5350